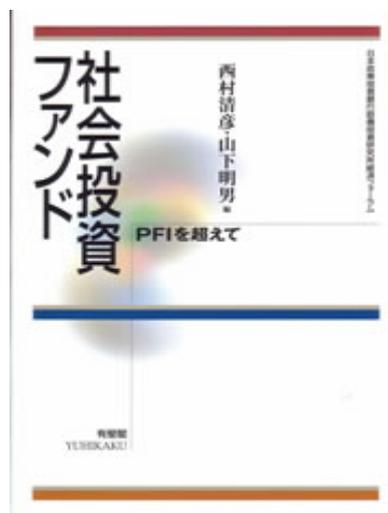


社会投資ファンド PFIを超えて

(設備投資研究所経済フォーラム第3号)

西村清彦・山下明男 編
2004/4 有斐閣/定価(本体 2300 円+税)
ISBN4-641-16205-0



最近、話題にのぼる大型公共事業。だが問題は「無駄か否か」ではなく「維持可能か否か」である。プロジェクトの維持管理から生ずる収益だけでなくリスクも現場が有限責任で担うという新しい仕組みを、ファンドの立ち上げからプロジェクトの運営まで具体的に解説する。民間資金と公的資金とを資本市場を通して組み合わせた社会投資ファンド。その考えや、PFIとの相違点を明らかにし、導入方法からプロジェクトの運営まで、実例を交えて説明する。

はしがき

稲葉陽二

第1章 「社会投資ファンド」とは何か

第2章 社会投資ファンドの対象 — 投資プロジェクトの具体的候補

第3章 政府失敗の克服に向けて

第4章 社会投資ファンドの社会・経済的効果 — 日本経済の活性化

第5章 金融・証券市場と社会投資ファンド
— プロジェクトファイナンスの活用と社会投資ファンド市場の整備

第6章 社会投資ファンド立ち上げ ガイドーゴミ発電の実践例

第7章 地域再生に「社会投資ファンド」システムを応用する